

## 教室でできる特別支援教育

名城大学 曾山和彦

2010.7.30

## 実践知を学ぶ・真似る

- 巡回訪問等を通して、「他校に伝えたい」と感じる **研究・実践** に会う。

・授業づくり (A小学校、B高校)  
・人間関係づくり (C小学校、D中学校)

各校の研究・実践を参考に、各地域の実状、児童生徒の状況に応じた微調整を加えることで、新たな実践知が生まれる。

2

## 三重県A小学校の実践

### 「どの子どもでもできる授業づくり 三つの原則」

- 授業規律の定着
- リズムとテンポ
- 1指示1動作

ユニバーサル; 普遍的

個への支援が全体の支援につながる

気になる子ども含む30名弱の子どもたちが45分集中して学ぶ姿に、「ああ、これが**知識生活黄金時代**ということか」と感動。担任の先生が練りに練った「作戦」に、子どもたちが心地よく乗っている、そんな印象を受けた。  
(小1授業参観時の、私の観察記録)

3

## 長崎県B高校の実践

### 「ユニバーサルデザインによる授業づくり」

- 教室環境づくり; 掲示物は四カ所留め、等
- 授業づくり; 教科書、問題集のどこをやっているのかを板書提示、等

ユニバーサル; 普遍的  
個への支援が全体の支援につながる

「落ち着きのない生徒が静かにノート記入するようになった」、「授業への**取り組み姿勢に意欲**が感じられるようになった」等 (教師による行動観察記述)

4

## 愛知県C小学校の実践

### 「人づきあいのコツを学ぶSSTタイム」(曾山.2010)

- 全学年が年間を通じて、毎週金曜の朝の短学活15分を使い、**SST**に取り組む。

ソーシャルスキル・トレーニング (対人関係のコツを教える)  
してみせて 言って聞かせて させてみて  
ほめてやらねば 人は育たず

SSTタイム継続により、**授業中の子ども同士のかかわり方もとてもよくなった**。自分の考えに固執せず、柔軟な考えをもつ子どもが増えてきた。(教師による行動観察記述)

5

## 愛知県D中学校の実践

### 「全ての学級が取り組むアサーションワーク」

- テーマは「**上手な断り方**」

道場の竹刀稽古 (河合.1998)

アサーションのロールプレイ  
自己尊重のコミュニケーションスタイル  
さわやかな自己主張

気になる生徒も含め、全学級の生徒がグループワークやロールプレイに取り組む姿に驚いた。最後に、校長先生から頼もしい発言もあり。「国語・数学の力は**秋田にも負けません!**」(参観時の、私の観察記録)

6

### よりよい実践に向け、はじめの一步 ～気になる子を理解する～

- 発達障害について学び、理解することは不可欠。家庭環境に関する状況理解も不可欠。

<常に心の中で繰り返してきた「二つの言葉」>  
 ・うまく指導してもらえなくてもいい。でも、子どものことは**理解してほしかった。**(ある保護者)

・教師は専門家である。教育を行う者が、教育を行う子どもについて**無知のまま教壇に立つことは、子どもに失礼極まりない。**(杉山・2005)

せめて、D. ウィリアムズ等の自伝を読んでほしい

### 何故、障害理解が大切なのか 1

～文部科学省調査結果(2002)より～

明らかな知的遅れがないにもかかわらず、学習や行動面で著しい困難を示す児童生徒は小・中学校の通常学級に**6.3%在籍する**

通常学級担任への質問紙調査結果。質問項目は、LD、ADHD、高機能自閉症に観察される典型的特徴から構成。教師が**必ず出会う**児童生徒である。

### 何故、障害理解が大切なのか 2

～ある少年事件から～

- 少年は精神鑑定で「**広汎性発達障害(PDD)**」を指摘されている。
- 広汎性発達障害(PDD)の人は、**言葉の意味をそのまま受け取ってしまうことがある(字義性)。**

障害が問題や事件を起こすのではなく、周囲の理解・対応の**不十分さが問題や事件の呼び水**になりやすい

### よりよい実践に向け、次の一步

～学級集団の状態を理解する～

- 学習規律(ルール)が定着している学級には「安心」が生まれ、その安心をベースに、集団内に「ふれあい(リレーション)」が生まれる。「安心・ふれあい」のある学級は児童生徒の居場所となり、満足度の高い学級である。

Q-U(河村・1999)の「学級満足度尺度」は、ルールとリレーションの2軸で児童生徒の学級満足度を測定する尺度。

A、C小(Q-U導入)の学級満足度は、全国平均よりも高い。気になる子が自然に学級に溶け込んでいる。

### 教室でできる特別支援教育

～秋田県 ある教師の声;学級集団を育てる～

ADHDの疑いのある小4男児。  
 暴言等による他児とのトラブルが頻発

<1年間の指導を終えた担任の声>  
 学級全体へのSST実施、「ルールブック(R. クラーク著)」活用等により、**周りの子どもを育てたら、対象児童とのトラブルが減った。**

参考:親野智可等先生の「ハンカチの話」

### 教室でできる特別支援教育

～担任の構え;個への配慮はするが深入りしない～

担任は全ての児童生徒にとって、「**僕(私)の先生**」

40人の子とも大きな道を歩く

脇道にそれる子どももいる

立ち止まるが、脇道には入らない

いつでも戻れる居場所の確保

「**それ方**」の程度により校内体制(支援員等)が必要



ハンカチ(学級)を持ち上げる!

### 一斉指導における 個への配慮(諸準備等)例

学習面	・学習レベルに合わせたプリント準備 (2,3学年下げた内容等)
行動面	・時々、立ち歩く程度は目をつむる ・学習、対人ルールを掲示する(ルール違反の時には非言語メッセージを送る)

対象児を馬鹿にする、えこひいきと反発する場合もあるため、学習や行動の「練習」であること等、他児への説明は必要。また、後の対象児保護者トラブルを防ぐため、保護者面談も必要。

「やや深入り」せざるを得ない場合の他児への課題も準備しておく

### 現代の子ども像と 教室でできる特別支援教育

現代の子どもは、**ソーシャルスキル、自尊感情**が落ち込んでいるのではない

気になる子の存在が、以前より**クローズアップ**されてきたのではない

気になる子、及び学級集団の状況を理解した上で、次の2点の指導・支援が大切ではないか

1. **人づきあいのコツ(技)**を教える
2. **自分に「OK！」**と言えるようにする

気になる子どもには、より機会を捉えて

### ソーシャルスキル&自尊感情を育む ~ SST & SGEの活用 ~

Q-Uの「学級満足度尺度」により、学級集団のルール状態(横軸)とリレーション状態(縦軸)を把握する

ルールが不十分な学級(横型)には「行動の教育」であるSST(ソーシャルスキル・トレーニング)が活用しやすい(「伝われ、私のありがとう」等)

リレーションが不十分な学級(縦型)には「感情の教育」であるSGE(構成的グループ・エンカウンター)が活用しやすい(「いいところ四面鏡」等)

### ソーシャルスキル&自尊感情を育む ~ 伝わる言葉をかける ~

- 東の横綱; 「いいところ探し」
- 西の横綱; 「対決のアイメッセージ」
- 東の大関; 「リフレーミング」
- 西の大関; 「？」
- プラスα; 「例外探し」

授業、生活場面等における教師の腕の見せどころ

### 伝わる言葉のかけ方; 東の横綱 ~ 「いいところ探し」による言葉かけ ~

呪文のように、「いつでも、どこでも、リソース(資源・財産)、リソース！」(黒沢幸子先生の言葉)

「褒める・勇気づける・認める」をバランスよくかける

< いいところ探しを誤解した! ? >  
ある担任の先生と、気になる子への支援を相談していたときのエピソード。  
・「A君のいいところはどこですか？」(私)  
・「  
」(担任)

ソーシャルスキル&自尊感情に効く

### 「褒める」と「勇気づけ」

褒め過ぎに注意!

**褒める**; 「  
」は偉い、上手、すごい」など。全て肯定のユーメッセージ。役割上、上から下の者にかける言葉

**勇気づけ**; 「ありがとう、うれしい、助かった」など。全て肯定の**アイメッセージ**。役割に関係なく並行にかけられる言葉

失敗しても自尊心、所属感を失わない態度(byアドラー)

教室を「ありがとう」でいっぱいしましょう!

### 伝わる言葉のかけ方;西の横綱 ~「対決のアイメッセージ」による言葉かけ~

行動	相手の行動を非難がましくなく描写する
影響	相手の行動が自分に与える影響を伝える
感情	その影響が自分に抱かせる感情を伝える

ソーシャルスキルに効く

### 伝わる言葉のかけ方;東の大関 ~「リフレーミング」による言葉かけ~

「人生、考え方一つ」(三屋裕子さんの講演から)

1. 人見知り
2. おしゃべり
3. おせっかい

↑

考え方次第で悩みは消える(論理療法 by エリス)

自尊感情に効く

### 伝わる言葉のかけ方;西の大関 ~「？」による言葉かけ~

子どもの言動が気になったら、いつも「？」をつけて言葉をかけるといいですよ(ある保育さんの言葉)

<言葉かけの例>

- ・「あれ～？ 今の言い方は？」
- ・「君と先生の約束は何だった？」
- ・「さん、何かあったの？」

ソーシャルスキルに効く

### 伝わる言葉のかけ方;プラスα ~「例外探し」による言葉かけ~

うまくやれていること(例外)はきっとある!

暴言が多い(問題) → 丁寧な言葉を使うこともある(例外)

例外の責任追及  
なぜ、例外が起きたのかを心に貯めておくことで、声をかけられる

ソーシャルスキル&自尊感情に効く

### まとめ;教室でできる特別支援教育 ~「伝わる言葉」が子どもを育む~

教室内の様々な場面において、子どもに伝わるように言葉をかける

↓

少しずつ、対人関係のコツ(技)を学び、自分に「OK!」と言えるようになる

↓

気になる子も周囲の子も、共に育つ教室となる

忘れずに 「一つだけでは多すぎる」(外山・1986)

### 主な参考・引用文献1

- 「特別支援教育のための精神・神経医学」、杉山登志郎・原仁、学研
- 「アスペルガー症候群と高機能自閉症 青年期の社会性のために」、杉山登志郎、学研
- 「特別支援教育を進める学校システム」、河村茂雄・高島昌之、図書文化
- 「気になる子への対応術」、会沢信彦・曾山和彦、教育開発研究所
- 「時々、“オニの心”が出る子どもにアプローチ 学校がするソーシャルスキル・トレーニング」、曾山和彦、明治図書
- 「気になる子も、まわりの子も安心な学級経営」、曾山和彦、文溪堂教育マガジン「hito\*yume(ひと・ゆめ)」

## 主な参考・引用文献2

- 「親業」、トマス・ゴードン、サイマル出版
- 「カウンセリング入門」、河合隼雄、創元社
- 「自閉症だったわたしへ」、ドナ・ウィリアムズ、新潮文庫
- 「我、自閉症に生まれて」、テンブル・グランディン、学研
- 「指導援助に役立つスクールカウンセリング・ワークブック」、黒沢幸子、金子書房
- 「思考の整理学」、外山滋比古、ちくま文庫

「学校におけるカウンセリングを考える会」資料  
<http://www.pat.hi-ho.ne.jp/soyama>

25

### 参考資料

## 通常学級における特別支援教育が進められるための3条件

特別支援教育コーディネーターが機能している

校内委員会が機能している

個別の指導計画の作成 & 機能している

### 参考資料

## 発達障害とは;特徴及び主な障害

- 先天的
- 症状が発達期(乳幼児期に多い)に出現
- 生涯に渡る

基本的には、脳の機能的な問題が原因とされる

精神遅滞;認知の側面

脳性麻痺、筋ジストロフィーなど;運動の側面

発達性協調運動障害;手先の細かな動きの側面

LD、ADHD、高機能PDD等

通常学級で彼ら自身「困っている子どもたち」

26

### 参考資料

## 発達障害者支援法 (2005年4月施行)

### □ 支援法における発達障害定義

自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害をいう。

これまで教育や福祉の支援対象となっていなかったものに対し、国、地方公共団体の支援責務を明らかにした。また、学校教育における支援、福祉増進を目的とするため、対象はやや狭義になっている。

28

### 参考資料

## LD (学習障害)

聞く、話す、読む、書く、計算する、推論する、の中で、特異な困難がある <教育的LD> disabilities = 困難さ

言語性LD;言語理解、表出、読み、書きの困難  
非言語性LD;空間、身体像、社会的知覚の困難

チェックポイント~スキップ、フォークダンス、縄跳びの困難

読み・書き・計算の障害 <医学的LD> disorders = 機能不全

ディスレクシア

29

### 参考資料

## ADHD (注意欠陥 / 多動性障害)

「不注意」、「多動性」、「衝動性」の三つの問題が見られるセルフコントロールの発達障害

前頭葉の活動が不活発 (ドーパミンなどの神経伝達物質の量、働き!?)

実行機能障害、ワーキングメモリーの障害とも言われる

教室で、特に気になる子ども

活性化作用のある刺激剤  
メチルフェニデート

リタリン コンサータ(日本初の治療薬)

**参考資料**

### PDD(広汎性発達障害)

- ・三つ組(社会性, コミュニケーション, 想像力)の障害を有する
- ・「自閉症スペクトラム」と同義
- ・以下の5つのPDDがある

- ・自閉性障害(\*この中で知的な遅れを伴わないものを, 「高機能自閉症」という)
- ・レット障害
- ・小児期崩壊性障害
- ・アスペルガー障害
- ・特定不能PDD(\*非定型自閉症と同義)

上記の中で, 高機能自閉症, アスペルガー障害, 知的な遅れを伴わない非定型自閉症を「高機能PDD」という 31

**参考資料**

### LDへの基本対応

例, 読みの困難がある場合

- ・教科書を120%に拡大する
- ・文章の文節ごとに区切りをつける
- ・本人に文節ごとに で囲ませる

ゆっくり, 正しく読めるようになった

教科支援の基本, 該当学年より2~3学年下げた内容を! 32

**参考資料**

### ADHDへの基本対応

脳の実行機能に弱さがあるため, 自らの動機付けが困難故に, 報酬(ご褒美)で行動をコントロールすることが基本

改善目標の一つ決め, 達成したらシールやスタンプの報酬等

「パソコン」というリソースで別人のように変わったA児

**主な配慮事項**

- ・注意や叱責の何倍もの賞讃を
- ・できていること, できそうなことを賞讃する
- ・賞讃, 叱責は直後に明確に
- ・指示は必ず復唱させる
- ・クールダウンの場を設ける 等

33

**参考資料**

### A児への支援例 ~ やくそくカード

パソコンが大好きで, 得意なA児

シールが5枚たまったら, パソコン15分チケットをもらえ

**やくそく名前**

- ・朝の歌をみんなと一緒に歌います (シール1枚)
- ・集会に本をもたずに参加します (シール2枚)
- ・教室でみんなと一緒に勉強します (シール2枚)
- ・放送室で先生と一緒に勉強します (シール1枚)

等

**参考資料**

### がんばり表

12月5日~12月9日

	月	火	水	木	金
1	国語	国語	算数	国語	算数
2	体育	理科	国語	算数	算数
3	算数	体育	国語	算数	算数
4	国語	国語	理科	算数	算数
5	社会	国語	体育	国語	算数
6	国語	国語	体育	国語	算数

A児のがんばり表

シールをもらおう!

34

**参考資料**

### A児の自作カード&パスポート

保健室に行きます

職員室に行きます

**パスポート**

みるくしょう  
4年年末1110才  
男たししょう日月日

36

## 支援事例

## 本で教えるソーシャルスキル

周囲の児童の行動変容があり、  
気になる児童(小4)の暴言も改善

ロン・クラーク著  
「みんなのためのルールブック」

人付き合いのコツがイラストを  
通して楽しく学べる。



## 参考資料

## PDDへの基本対応



38

## 支援事例

## NHKプロフェッショナルより

～自閉症支援・服巻智子～

プロフェッショナルの道具; 白いメモ帳

服巻が必ず鞆に忍ばせているのが、真っ白なメモ帳。

相談内容を聞き取ってイラストにし事実関係を整理する。そしてどうしたら良かったのかを書き添えて、メモを渡す。自閉症の人たちは視覚的な理解・記憶が得意なため、書いて伝えることが大事だという(2007.10.30放送)